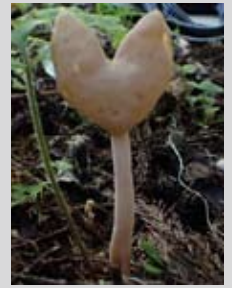




エコネット通信

VOL.29



森楽倶楽部で見つけたハートの形のキノコ。

森を 川を この里の自然を 子ども達へつなげたい！

ホームページ : <http://tono-econet.org/> フェイスブックでも情報発信中！

山形県視察レポート

みちのく薪びと祭り「三瀬&めぐたま

みちのく薪びと祭り

東北地方の薪づくり団体の交流・連携の場として始まった「みちのく薪びと祭り」。その第1回が開かれたのは、2014年10月。場所は山形県鶴岡市三瀬地区であった。それ以降毎年1回、東北6県を持ち回りで開催し、第2回は岩手県の遠野市を会場に、当会が主催して行った。新型コロナウィルス感染症の影響もあり、2年間は各県のキーパーソンのオンライン会議や、広島県への視察研修を行ってきたが、今年から2周年目となるセカンドシーズンへ突入することになった。

場所は一回目の三瀬地区。10月21日(金)〜22日(土)の2日間の日程で、コロナの影響もあり人数制限がかけられたが、それでも東北各地から60名ほどが集まり、当会からも3名



薪びと祭りでは、お互いの地域の情報交換もできる。



三瀬地区「ひやくねん森」の竹製手づくり遊具。



めぐたまこども園の園舎に使われている金山杉。



こども園の土間には、カマドや薪ストーブもある。

が参加した。1日目は三瀬コミセン内にて。

三瀬地区のその後の活動を紹介いただいた後に、「未来のビジョンをどう描く」などをテーマに、参加者とアドバイザーの先生方を交えて、薪づくりから地域の未来について等を討論する場となった。また、一日目の夜は恒例の交流会で、この「薪びと祭り」のために当会代表の千葉が作った「マキマキロック」を千葉がギター片手に熱唱した。

2日目は現場見学会。まずは、三瀬地区に設置された風力発電施設の見学。直接運営会社職員が概要を説明し、風車の内部も見学できた。その後、三瀬地区の体験交流施設である「ひやくねん森」へ移動。ここには、三瀬地区住民が手づくりで建てたログハウスや炭焼き小屋と森を散策できる歩道が整備され

ており、この整備により、交流人口が拡大しているという。地域にこのような森があることは、羨ましいかぎりである。

こども園めぐたま

三瀬地区から遠野に戻る道中で、山形県最上郡金山町にある「認定こども園めぐたま」を視察した。当会では、豊かな森づくりをしながら、その森林資源を活かした地域づくりを進める「MORITOPROJECT」を始まっています。その中で、森林資源を活用した上でのゼロエネルギー住宅をモデル的に建設できないかを検討している。そこで、今回の薪びと祭りでも、アドバイザーとして参加した、東北芸術工科大学教授の三浦秀一先生に、良い事例として紹介いただいたのが、この「めぐたま」でした。当日は短時間でしたが、こども園を運営する法人の井上理事長に案内いただき、樹齢200年を超える「金山杉」を使った園舎や薪ボイラー施設の他、同法人で運営する学童施設も見学した。

森のデイキャンプ「おひさまのねっこ」 10/8(土)11/12(土)

10月の「おひさまのねっこ」は、8名の小学生が参加。午前中はオッホーの森へ森探検に出かけ、森の中で遊んできました。午後は畑に苗から育てたサツマイモの収穫。掘ったイモを洗いホイルに包んで、焚き火でじっくり焼きます。その後は、4月に種まきし、6月に田植えをした田んぼでの稲刈り。草刈り鎌を手に、稲を刈り、ワラで束ねて、ハセ棒にかけて天日乾燥します。稲刈りを終えたら、焚き火で焼いていたサツマイモを美味しくいただきました。

11月の参加者も8名。この日は、午前に森へ出かけキノコ採り。ムキタケとクリタケを見つけました。森から戻ったら、畑に種から育てた大根とニンジン収穫し、キノコと一緒に焚き火でキノコ鍋を作ってお昼にいただきました。午後は、先月稲刈りして干していた稲の脱穀。足踏み脱穀機で脱穀し、唐箕でゴミを吹き飛ばす作業を行いました。新米ご飯は、1月に飯ごうで炊いていただきます。



10月のデイキャンプで稲刈りをする小学生。

森のようちえん「どんぐりのぼうし」 10/15(土)11/19(土)

10月は5組の幼児とその家族が参加。この日は、春に畑に植えて育てたサトイモとニンジン収穫。また、森遊びで見つけたキノコ(チャナメツムタケとスッポンタケ)といっしょに、イモノコ汁を作りました。また、田んぼで稲刈りとサツマイモ掘りもがんばってやりました。

11月は4組の幼児とその家族が参加。朝の会では、いつもの様にボスのギターで、「どんぐりのぼうし」を歌い、森へ出かけました。森の中へ出かけると、歩くたびに落ち葉が「ガサッガサッ」と音がします。小さな子ども達は、落ち葉も遊び道具に変身。掘ったり、かけあったり。森から戻ったら、畑で大豆の収穫。収穫した大豆をシートの上に広げて、棒で叩いて脱穀をしました。収穫した大豆で、次回は豆腐づくりも予定しています。最後は、先月収穫したサツマイモを焼いていただきました。



8月の山仕事講座では、刈り払い機の実習をしました。

山仕事ははじめの一步(入門)講座 10/9(日) 11/13(日)

10月の参加者は13名。場所は、薪の駅近くの松崎町内の実習林。今回の実習テーマは造材。間伐して倒した木をチェーンソーで枝払いして、寸法に玉切りする、木材を資源化するために大事な作業です。これが、なかなか難しい作業なのですが、先生方に指導いただきながら、頑張って実習しました。その後は、間伐も行いました。

11月の参加者は12名で、場所は先月と同じ実習林。最初に、枝打ちの方法について説明いただき、高枝鋸を使って枝打ちを実習。その後、グループに分かれて間伐・造材作業を行いました。



9月の山仕事講座では、ロープと滑車の使い方を学びました。

森業倶楽部 10/23(日) 11/27(日)

10月の森業倶楽部は、宮守町の佐藤秀夫氏を講師に、ツル細工を行いました。6月に貞任の実習林で採集したヤマブドウやオニグルミの樹皮を使ってカゴづくりを行いました。講師の先生が用意した型に合わせて、ツルを交互に編み込んで、ステキなカゴができました。

11月は、上郷町の菊池光典氏を講師に間伐材の木工作業。春から始めた木工も中盤となり、それぞれが黙々と木に向き合って作品づくりを頑張っています。



10月の森業倶楽部は秀夫さんの指導でツル細工を行いました。

活動報告 (10月～11月)

猿ヶ石川魚類等モニタリング調査 10/14(金)

「猿ヶ石川再生プロジェクト」の一環として始まった魚類等のモニタリング調査。8年目となる今年は、7名が調査員として参加。小友川・早瀬川・小鳥瀬川・本流の松崎町と附馬牛町の5カ所にて調査を行いました。前回まで、激減していた小友川は少し魚の数が回復傾向にあることが分かりましたが、川底は未だに泥で埋まっている状況でした。10年を一区切りに、継続して同時期に調査を予定しています。



早瀬川でのモニタリング調査の様子。

森楽倶楽部 10/1(土) 11/5(土)

10月と11月は、薪の駅周辺の実習林での自然観察を、西和賀町のカタクリの会代表の瀬川強さん陽子さんご夫婦を講師に行いました。10月の参加者は7名。強さんが手づくりした紙芝居にて、植物の実(種)について解説いただいた後、森へ出かけます。森では、様々な形のキノコや木の実を観察できました。また、お昼には薪の駅に戻り、炭火でキノコ鍋を作ってくださいました。

11月参加者は10名で5歳の子ども連れの方も。紅葉真っ盛りの中での自然観察となりました。森の中を歩くと、大きなクマの糞があったり、立ち木にムキタケ(キノコ)がいっぱい出ていたり。後半は、落ち葉などを拾って薪の駅に戻り、落ち葉を模造紙に貼付けて「葉っぱアート」づくりも行いました。



11月の森楽倶楽部参加者が作った葉っぱアート作品。

水源の森づくりプロジェクト 10/3(月)

この日は、琴畑高原の遊々の森にて、土淵小学校4年生11名と植樹した苗木の成長を確認。その後、周辺の森の林道を歩きながら、どんぐり拾いをしました。どんぐりを見つけると子ども達は「あったー！」と喜んで拾い、友達と見せあったりしていました。その後、学校に戻り、学校の校庭の一面に作っているどんぐり畑に畝を作り、どんぐりを播きました。今回は、鳥獣対策として、畝を稲藁で覆い、更にネズミ対策で杉の葉を畝の周囲に並べてみました。元気な苗が育ちます様に。



琴畑高原でどんぐり拾いをする土淵小学校の生徒達。

薪づくり倶楽部&森の笠地蔵プロジェクト

10/2(日)10/30(日) 11/6(日)11/8(火)11/27(日)

日一日と寒さが募るようになり、薪づくり倶楽部の参加者も増え始め、10月2日は16名、11月6日は20名が参加しました。また「森の笠地蔵プロジェクト」として高齢者へ配達する分の薪が不足して来たために、10月30日に臨時の薪づくりを行い10名が参加してくれました。そして「森の笠地蔵プロジェクト」として、11月に土淵町、附馬牛町、松崎町、遠野町の高齢者宅5軒に軽トラック12台分の薪を無料で配達することができました。



11月の薪づくりは大勢の方に参加いただきました。

間伐倶楽部 10/22(土) 11/26(日)

10月の間伐倶楽部は4名、11月は3名が参加し、薪の駅近くの松崎町内の実習林で間伐・造材・集材作業をエコネットスタッフと共に行いました。参加者は、ほとんどが今年度の山仕事講座に参加している受講生で、講座に参加できなかったことの補講を兼ねて参加しています。間伐倶楽部は、参加者が少人数となるため、ほとんどマンツーマンで間伐実習を行えます。冬期間は、山仕事講座は座学となりますが、間伐倶楽部は実習を継続しますので、防寒対策をした上で、冬の山での作業も体験してみてください。



森の笠地蔵プロジェクトでは、薪ストーブの煙突掃除もします。

主な活動の予定 (12月～1月)

月日	タイトル	内容	活動場所
12/4(日)	薪づくり倶楽部/森の笠地藏P	薪づくり、薪配達他	薪の駅、高齢者宅
12/10(土)	森のデイキャンプ「おひさまのねっこ」	森探検とワラ細工	オッホーの森他
12/11(日)	山仕事はじめの一步(入門)講座	造材(枝払い)、間伐実習	松崎実習林他
12/12(月)	山の神様の年取り	山の神参道整備、祠清掃、参拝	遠野町実習林
12/16(金)	炭っこ倶楽部	緑峰高校炭焼き体験	薪の駅
12/17(土)	森のようちえん「どんぐりのぼうし」	森のおさんぽ、豆腐づくり他	オッホーの森
12/17,12/24(土)	「すっぴん土曜日」放送(代表千葉)	エコネットの活動紹介予定	IBCラジオ(8時35分頃)
12/24(土)	間伐倶楽部	間伐・集材体験	松崎実習林
12/25(日)	森業倶楽部	間伐材の木工/ピザづくり	薪の駅
1/7(土)	ムーンライトハイキング	満月の夜の雪原歩き	薬師岳山麓他
1/8(日)	薪づくり倶楽部/森の笠地藏P	薪づくり、薪配達他	薪の駅、高齢者宅
1/14(土)	森のデイキャンプ「おひさまのねっこ」	森探検と新米ご飯づくり他	オッホーの森
1/15(日)	山仕事はじめの一步(入門)講座	安全講習、森づくり座学	松崎実習林他
1/21(土)	森のようちえん「どんぐりのぼうし」	森のおさんぽ、新米ご飯他	オッホーの森
1/22(日)	森業倶楽部	間伐材の木工	薪の駅
1/28(土)	間伐倶楽部	間伐・集材体験	松崎実習林

【編集後記】

遠野でも雪が降り積もる様になり、いよいよ薪ストーブの季節となりました。冒頭に紹介した「みちのく薪びと祭り」ですが、来年は岩手・遠野での開催と決まり、山形・三瀬地区から岩手へのリレーボードの伝達式が、薪びと祭りの最後に行われました。(下写真)。

「薪」の魅力は、単なる暖かさだけではなく、生命ある「森の恵み」をいただいているという安心感が根底にある様に思えます。古くて新しいエネルギー「薪」の魅力を発信していきます。(千葉)



発行: NPO法人遠野エコネット
令和4年12月9日発行
岩手県遠野市附馬牛町上附馬牛19-530
Tel&Fax 0198-64-2250
E-Mail: pahaya@tonotv.com



スタッフが自慢のトランペットを演奏。森の中での響き具合が、とても美しい音色でした。

10月16日(日)に、この夏に開催した薪の駅近くの「森フェス」会場の森にて、準備や当日のスタッフ・講師として参加した方々が集まり、焚き火を囲んで来年の森フェスについて語りました。

森フェス後に、講師や出店者、スタッフそ

森フェス・スタッフ焚き火会〜来期に向けて〜

それぞれにアンケートをとりましたが、そのほとんどの方が、森フェスの継続を望んでいることが分かりました。また、スタッフからは、夏以外の季節でもやったらという意見もあり、秋の森に集まって、鍋やバーベキューをいただきながら、緩やかに意見交換ができました。

森フェス参加者のメインターゲットは、子ども連れ親子ということで、時期に関しては、やはり今年同様に夏休みが良いのかという話になりました。夏は暑くて、アブなどの虫も多いという指摘もありますが、その反面に、森の中は案外涼しく感じられて、森の居心地の良さをアピールできる点も大きいとの声も。内容は、今年は体験やステージが盛りだくさんで、同時進行したが、今後はもっとシンプルで、全てに参加できるようにしたという意見が多くありました。